



福島市文化振興課
令和3年3月発行

しゃがむ土偶 辞典

上岡遺跡のしゃがむ土偶



こんにちは!

しゃがむ土偶 です。

横から見ると
お腹が膨らんで!

大きな乳房があり、お腹が膨らんで
いることから妊婦を表している!



素敵な模様が
あるよ!

まるで洋服を着て
いるかのよう?



お面を
かぶっている?
実は耳飾りも…

ストレッチを
している!?

腰を曲げてしゃがんで、
右腕を左の腕で抱え込ん
でいる。まるでストレッチ
をしているよう?

わたしのプロフィール

見つかる
ところ **上岡遺跡**

生まれ **縄文時代後期(約3,500年前)**

高さ **21.3cm** 重さ **1.7kg** 種類 **重要文化財**

わたしは
約3,500才!



謎

この土偶のポーズが何を表現して
いるのか正しい答えはまだありません!

≪ 有力な説は2つ!! ≫

- 1 縄文時代のお産(座産)のポーズという説
- 2 祭祀(まつり)の場面の折りのポーズという説

「大型で、姿勢や動作が具体的に表現され、細部まで細かい作り込み
であり、縄文時代の文化や習俗を考える上で極めて貴重」という高い
評価を受け、土偶単体として重要文化財に指定されました。県内では
唯一の逸品です。

“ほんもの”に
会えるのはココ!!

じょ-もぴあ宮畑

縄文時代を身近に感じられるゆーとびあ!
縄文時代を身近に感じられるゆーとびあ!
じょ-もぴあ宮畑は、今から約4,500~2,500年前の縄文時代の宮畑
遺跡を復元した公園です。高さ90cmの柱を使った巨大な竪立土偶
や竪穴住居が復元され、縄文をテーマにした体験が見ることができます。

大人も子供も楽しめる! 体験型展示もたくさん! 月夜も楽しめる! 月夜も楽しめる!

MAP

【開園時間】9:00~17:00
【駐車場台数】140台
【定休日】
●体験学習施設・露出展示棟:年末年始・火曜日
(火曜日の場合は、翌日(土曜日の休日は除く))
●福島市立学校の春・夏・冬季休業中は毎日開館
●休館棟・故事棟:年末年始(12月29日~1月3日)
●公園区域・駐車場・休憩棟内トイレ:定休日なし



わたしは
ココで
見つかりました

しゃがむ土偶の 発見!

上岡遺跡

(飯坂町東湯野)



ココ!!

福島市

土偶出土地点

道
神社

昭和27年
調査地点

昭和56年
調査地点

発掘当時(昭和56年)



調査区全景

現在



昭和27年に小原元七氏・恒七氏兄弟が果樹園の排水溝を掘っていると、壁穴住居の炉跡や縄文土器とともに「しゃがむ土偶」(平成23年に重要文化財に指定)を発見しました。当時の発掘調査は全国的にも例が少なく非常に画期的なものでした。また、昭和56年の調査では全国でも珍しい水遣遺構が見つかりました。

「しゃがむ土偶」は一部欠けた状態で見つかりました。<すん...>

その後の調査で残りの部分も探しましたが、

残念ながら発見できませんでした...



わたしの
故郷

上岡遺跡とは?

縄文時代後期(約4,000年前~3,000年前)と晩期(3,000年前~2,300年前)の2時期にわたる縄文時代の集落であることが判明!

朱漆塗りの縄文時代晩期の土器片と耳飾り



縄文時代の人も
オシャレをしていた!

※じよーもびあ宮塔体験学習館「じよいもん」で展示中

縄文土器や石器だけでなく、土偶や朱漆塗りの土器などハレの日(まつり)に使用された道具、北東北の文様をついた土器や透光土器も見つかっています。上岡縄文人はとてとても優れた精神文化と土木技術を持っていたことがわかります。南方(房総半島以南)に生息する巻貝である「イモガイ」の殻を輪切りにした形の石製品が出土していて、遠くの村との交流・交易も行われていたことがわかります。

出土した縄文時代晩期の土器

どんな風に使っていたのかな?

イモガイ形石製品の出土状況



海が近くにないのに
貝の殻を知っている!

このように、上岡遺跡は福島市の縄文社会を考える上で非常に重要な遺跡であり、未来に残すべき大切な宝です。



知ってる？ 土偶とは？

土偶は、土をこねて作った人型で、女性を表現しています。縄文時代草創期(約15,000~10,000年前)に出現し、晩期(約3,000~2,300年前)まで長い間作られ続けました。出現期の土偶には顔や手足がありませんが、時期がたつにつれ、「顔のある土偶⇒自立する土偶⇒ポーズをとる土偶」へと進化していきます。

土偶の進化

草創期・早期	前期	中期	後期
顔や手足がない	顔や手足の表現が生まれる	体が立体的になる	自立する
箱谷土偶(箱谷遺跡(青森県))	手輪台土偶(楡葉町) 千字形土偶	三内丸山土偶(青森県) 大型板状土偶	寛小路土偶(伊豆山) ハート形土偶
写真提供: 塩尻市歴史文化財センター		写真提供: 三内丸山遺跡センター	写真提供: 磐山寺教育委員会



どんな願いが込められているの？ 土偶のやくわり

土偶は、祈りの道具として使われており、安産・子孫繁栄など社会をつなぐ大事な願いが込められていました。縄文時代の人々は、土偶に様々な特別な願いを込めてお祈りをしていたと言われています。

土偶は、縄文人の心であり、縄文の文化なのです。

？ 土偶はどのように使われていた？

- ① 「壊れた状態」で見つかるものが多い ▶ 祭祀(まつり)・破壊に災厄等を祓うためという説
- ② 特に「女性」を表現しているものが多い ▶ 多産・安産などを祈ったという説

？ 土偶の大きさにも意味があった？

土偶のサイズは大・中・小があり、大きいものは「村」全体で集まって行う「まつり」に、中程度のものは家族や個人での「まつり」に、小さいものは各個人での「まつり」にと、それぞれの用途で大きさが決まっていたのではないかと考えられています。

しかがむ土偶は「大きな土偶」に当たり、村役のまわりごこに使用されていたと考えられます。村の象徴として大切にされていたのでしょう！



わたしの仲間たち 全国のしかがむ土偶

上岡遺跡の土偶と似た、しかがむ顔を組んでいる土偶は全国各地で見られています。縄文人達はなぜ同じポーズをしたこのような土偶を作ったのでしょうか。

- 1 上岡遺跡 (福島県楡葉町)
- 2 風張1遺跡 (青森県八戸市)
- 3 荒谷遺跡 (青森県八戸市)
- 4 野間平遺跡 (岩手県田舎町)
- 5 立石遺跡 (福井県越前町)
- 6 夫木石袖高野遺跡 (岩手県高野町)
- 7 宮ヶ峰遺跡 (宮城県石巻市)
- 8 藤岡神社遺跡 (栃木県栃木市)
- 9 下山遺跡 (福井県坂井町)
- 10 宮田遺跡 (東京都八王子市)

？ なぜしかがむ？

全国から見つかるしかがむ土偶の姿勢は「安産」の姿勢とも「祈り」の姿勢とも言われており、実はわかりません。その姿勢が分娩や胎児入るいは産婦の姿勢とも解釈できることから、生と死のシンボルとも考えられています。

【写真提供】①小川重博氏撮影 ②③八戸市教育委員会 ④弘前大学人文社会科学部日本考古学研究所センター
⑤花巻市総合文化財センター ⑥(公財)岩手文化圏興事業団里山文化財センター ⑦岩手県教育委員会
⑧栃木市教育委員会 ⑨国立歴史民俗博物館 ⑩島根県教育庁里山文化財調査センター